



命を守れ！ 不審者対応避難訓練

～訓練は「いつか！まさか！」のいざというときに役に立つ！～

2月5日、学校に不審者が侵入した想定で、避難訓練をしました。今回の訓練は、担当の三浦真先生の企画で、「教室の入り口にカギをかける」「机やイスなどで入り口にバリケードをつくる」「不審者に姿を見せないように低い体勢になる」など、新たな方法を試しました。

(不審者役も三浦先生がしました) 子どもたちは、先生たちの指示に従い、落ち着いて行動していました。その後は各クラスで反省会をし、全体での反省会では、「落ち着いて行動できた」や「バリケードを作るとき話をして遅くなった」などが発表されました。私から郊外で不審者に遭遇した場合の対応として、①離れる ②(ブザーや笛で)音や大声を出す ③大人に助けを求める ④警察に届ける などを話しました。ご家庭でも不審者対応についてお話しをお願いします。



5年 自分で育てたお米は美味しい！

5年生が、5月から半年間をかけてバケツで育てた稲を、自分たちで収穫から脱穀・精米などすべてを自分たちでしました。そのお米を使って前田愛実先生、野口ひとみ先生、西橋美穂先生の教えを受けて、お鍋で炊き上げ、おにぎりを作ったり、煮干しで出汁を取ったお味噌汁を作りました。料理は先生方にもふるまわれ、私もいただきましたが、おにぎりもお味噌汁もとてもおいしかったです。ありがとう。

水やり等のお世話を育てたお米は、格別な味だったことでしょう。食の大切さやお米を食べるまでの様々な過程も学ぶことができました。



6年 まかせてね 一食分の食事！

6年生は、担任の田中阿沙美先生の指導で、グループごとに一食分のメニューを考えて調理をしました。オムライスやスパゲティー、ベーコン巻きなど、いろいろな料理が出来上がりました。根菜もしっかり火が通り柔らかくなっていて、味付けもほどよくしてありました。各グループの料理は、先生たちにもいただきました。私もとてもおいしくいただきました。ぜひ、ご家庭でもおいしい料理を作ってもらってください。



いじめをなくす いじめ防止等対策委員会開催

2月6日(火) 第2回山東小いじめ防止対策委員会を開きました。いじめの防止、早期発見、対処に関する措置を実効的に行うために熊本市では、全小中学校でいじめ防止対策委員会設置してあります。

今回は、熊本北合志警察署スクールサポーターの西村洋輝様に参加していただきました。会議では、本校の現状や取組について、担当の三浦真先生が説明し、様々な観点からご意見をいただき協議をしました。ありがとうございました。

命の大切さを考える！

<いのちのはなし～赤ちゃんが生まれるとき>

2月15日、佐藤恵美加先生の企画で学校保健委員会を開催しました。父・母代表として三浦真先生（2児の父）・野口ひとみ先生（2児の母）から、子どもが生まれたときの嬉しさや願い、子育ての大変さや喜びなどを、また、現在妊娠中の前田愛実先生から、妊娠中の大変さや嬉しさ不安などについて、インタビュー形式で話を聞きました。詳細は「ほけんだより」をご覧ください。

各クラスで、話を聴いた感想やこれから自分ができる事を発表したりしました。子どもたちからは、「周りの人や友だち、赤ちゃんの命がすごく大切なことが分かった」「親は大切に育ててくれたので、親に感謝したい」「前田先生のお手伝いをして、なるべく楽にしてあげたい」「妊婦さんがいたら自分ができることをしたい」などの感想や意見が出ていました。



授業参観・学級懇談会ありがとうございました

2月20日（火）授業参観・学級懇談会をしました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか？今年度最後の授業参観・学級懇談会となりましたが、子どもたちの1年間の成長ぶりを見ていただけたでしょうか？

この日のために、担任の先生方は授業の準備をしてお待ちしていました。また、学級懇談会でも資料を作成して、進級・卒業に向けた話があったことと思います。保護者の皆様からこの1年間で成長した姿を話していただいたりしたことと思います。ありがとうございました。

工事中！ 正門横に新しい門を設置！

～災害発生時に子どもたちを保護者に引き渡す時などに活用！～

本校の車の進入口は正門の1か所なので、出入りする車がスムーズに動けなくなります。災害などで子どもたちを保護者へ引き渡す必要がある場合、体育館前やもくゆう館の駐車場に車を止めていただくことにしています。しかし、大雨や雷が鳴っているときには危険が伴います。そこで、校庭に車両が出入りできる門を正門横に設置するように教育委員会に申し入れました。現在その工事中で、3月中旬には完成する予定です。平常時は閉めておき、必要がある時のみ開きます。



4年生に色紙のプレゼント～

十歳までは、ひとつ、ふたつ、みっつ、・・・九つと「つ」がつかます。しかし、十歳になると「つ」がつかなくなります。このことから、十歳を大きな節目と考え、これまでを振り返り家族に感謝し、これからの夢に向かって決意を新たにする式を三浦真先生の企画で実施しました。（以前の1/2成人式です）

また、式では、山東校区社会福祉協議会様・厚生保護女性会様から、4年生一人一人に色紙をいただきました。色紙には「祝 つなし たった一つの生命 一回きりの人生 一回きりの十歳 つなしの節目を大事にし健康で楽しく生きていくことを願っています」と書かれていました。子どもたちは、校区の皆様からお祝いされていることを感じ、感謝の気持ちをもって夢に向かって進んでくれることと思います。ありがとうございました。

